

こども環境学会2014年大会（京都） 2014年4月25日（金）～27日（日）

計画書

【1】企画概要

- タイトル：こども環境学会2014年大会（京都）
- 大会テーマ：「こどもと歴史・伝統 ～未来につなげて～」
- 期日：平成26年4月25日（金）～27日（日）
- 会場：京都工芸繊維大学（京都市左京区松ヶ崎橋上町1）

■大会主旨・目的：

「こども環境学会」は学問の領域を超えて、こどもを取り巻く環境＝「こどもの環境」の問題に関心や関わりのある研究者や実践者が集い、共に研究し、提言をし、実践してゆくなかで、こどもの成育に寄与する環境科学を確立し、こどものためのよりよい環境を実現することを目的としています。

2013年度大会（東京）は、「こどものコミュニティ力 ～つながる力・つなげる力～」というテーマで開催しました。2014年度大会（京都）は、「こどもと歴史・伝統 ～未来につなげて～」というテーマで開催します。

京都は、日本の歴史・伝統を感じられる日本の古都です。様々な時代・様式が積み重なった現れとして、社寺建築、城郭、日本庭園、町家など多種多様な建築・空間があります。そして、祭り・行事、染色・織物、茶道・華道、懐石料理・和菓子、伝統工芸・伝統美術など様々な文化が地域ごとに継承されています。また、若者・学生が文化の一端を担う、進取の気風に富んだモダンな街でもあり、数々の先駆的な試みもなされてきました。こうした多面性をもつ京都において、こども環境を、歴史的な視点、日本らしさや地域性という視点から見つめ直して、それらをいかに受け継いで未来につなげていくのかを考えていきます。

■内容（概要）：

【4月25日（金）】

エクスカーション：こどものための施設見学ツアー

A コース「京町家・秦家」「西本願寺およびその周辺」「マンガミュージアム」

B コース「同志社大学関連の近代建築」「京都市学校歴史博物館」

【4月26日（土）】

◆開会式、オープニングセレモニー

◆国際シンポジウム

正高信男（Masataka Nobuo）氏

京都大学霊長類研究所教授。霊長類学・発達心理学者。ヒトを含めた霊長類のコミュニケーション研究が専門で、『ケータイをもったサル「人間らしさ」の崩壊』など著書多数。

ジョナ・サルズ（Jonah Salz）氏

龍谷大学国際文化学部教授。アメリカ・ニューヨーク州生まれ。比較演劇論。1981年「能法劇団」を茂山あきら氏と結成。1984年には日本の伝統芸能のワークショップ「T T T（トラディショナル・シアター・トレーニング）」を創設するなど多彩な活動を行なっている。

◆ポスターセッション

◆特別シンポジウム

仙田満（代表理事、東京工業大学名誉教授）

◆ワークショップ

「指で描くパステルアート」：高雄良子（アトリエ SORA）

「こども建築教室」：葉山勉（京都精華大学）

「まちくさ探し」：花輪由樹（京都大学）ほか

「ワークショップ屋台村／繭人形づくり＋植物遊び＋生き物遊び＋サンドアート」：

藤井修（たかつかさ保育園）、井上美智子（大阪大谷大学）、

嶽山洋志（あわじ景観園芸学校）、笠間浩幸（同志社女子大学）

◆総会／こどもイベント、懇親会

【4月27日（日）】

◆分科会 A～E

A：遊び・遊具の継承と発展，B：こどもと自然 いまむかし，

C：こどもと伝統的空間の関わり，D：地域でこどもを育てる，E：道と遊び

◆東日本大震災復興支援報告

◆2013年度こども環境学会賞 受賞者記念講演

◆総括セッション・大会提言／閉会

■主催：公益社団法人 こども環境学会

■共催：京都市（予定）

■協賛：京都工芸繊維大学（予定）

■後援：（予定）

内閣府、国土交通省、文部科学省、厚生労働省、環境省、日本学術会議、科学技術振興機構、日本ユニセフ協会、日本ユネスコ協会連盟、日本建築学会、日本都市計画学会、日本造園学会、日本環境教育学会、日本発達心理学会、日本保育学会、日本体育学会、日本子ども社会学会、人間・環境学会、日本安全教育学会、日本感性工学会、日本小児保健協会、日本建築家協会、全国建設室内工事業協会、都市計画コンサルタント協会、日本公園施設業協会、日本公園緑地協会、公園財団、日本造園建設業協会、都市緑化機構、IPA 日本支部、チャイルドライン支援センター、日本こども NPO センター、聖徳大学、東海大学、京都市教育委員会、京都市保育園連盟、京都新聞社会福祉事業団

■事務局：公益社団法人 こども環境学会事務局（事務局長：中山豊）

〒106-0044 東京都港区東麻布 3-4-7 麻布第1コーポ 601

TEL: 03-6441-0564 FAX: 03-6441-0563

e-mail: info@children-env.org、URL: <http://www.children-env.org/>

■参加費等

大会参加費：正会員、団体会員：5,000円（当日参加は、5,500円）、学生会員、一般学生：3,000円（当日参加は、3,500円）、会員外（京都市民以外）：6,000円（当日参加は6,500円）、会員外（京都市民・26日参加の場合）：無料、会員外（京都市民・26,27日参加の場合）：1,000円、障害者、こども（高校生以下）：無料（但し資料代別途）

エクスカーション参加費：500～2,000円程度

【2】 予算計画

[収入の部] (単位:千円)

項目	予 算 額	概 要 内 訳
参加費	1,300	一般：5千円×200人=1,000千円 学生：3千円×40人=120千円 会員外：6千円×30人=180千円
補助・助成・協賛金	600	賛助会員等から協賛金：30千円×20口=600千円
展示・広告収入	450	30千円×15口=450千円
交流会費	400	4千円×100人
その他	50	雑収入
合 計	2,800	

[支出の部] (単位:千円)

項目	予 算 額	概 要 内 訳
会場費	100	京都工芸繊維大学松ヶ崎キャンパス
交流会費	400	懇親会：3千円×100人=300千円 ワークショップ、こどもイベント=100千円
講師謝金	250	国際シンポジウム、特別シンポジウム、分科会、エクスカーションなどの講師（50千円×2、20千円×1、10千円×13）
旅費	180	講師交通費、宿泊費
印刷製本代	1,200	大会プログラム 1,200部(A4版、100ページ)
広報活動費	400	ポスター、チラシなど印刷、通信・運搬
会場設営・事務局	60	会場設営、事務局員
会議費・人件費	200	実行委員会、ボランティアなど
その他	10	保険など
合 計	2,800	

※不足が生じた場合には、主催者が負担するものとする。

4/27（日） 午前 10:00～12:00

分科会A「遊び・遊具の継承と発展」

パネリスト：西澤美知代、笠間浩幸、中川香子

指定討論者：杉本厚夫（担当：笠間浩幸、中川香子）

概要：伝承されてきた遊びや遊具（砂場）の意味や役割。伝承遊びの価値や重要性、遊びの具体的・実践的な環境、こどもの遊ぶ力の育成、継承・発展のための方向性などを探る。

分科会B「こどもと自然 いまむかし」

パネリスト：藤井修、新田章伸、佐藤英文

指定討論者：嶽山洋志（担当：井上美智子、藤井修、嶽山洋志）

概要：こどもに自然遊びを提供する試みの紹介。それらの取り組みの中に見られるこどもの姿から、自然遊びの意義を再考し、今後に向けての展望を話し合う。

分科会C「こどもと伝統的空間の関わり」

パネリスト：秦めぐみ、バルナ・ゲルゲイ、1名未定

指定討論者：松本直司（担当：大谷由紀子、高木真人、須藤美音）

概要：こどもたちにとって、伝統的な空間とは何なのか、伝統的な空間とどのように関わっているのか。そして、どのように継承していくべきなのかを探っていく。

4/27（日） 午後 13:00～15:00

分科会D「地域でこどもを育てる」

パネリスト：前田昌弘、竹村佳子、朱まり子

指定討論者：川北典子（担当：壽崎かすみ、川北典子）

概要：京都では昔から地域が一体となってこどもを育ててきた。番組小学校や地蔵盆などの行事など地域とこどもたちがいかに関わってきたのかをみていく。

分科会E「道と遊び」 …こみち研との共催

パネリスト：重本晋平、関根康正、今井博之

指定討論者：木下勇（担当：花輪由樹、寺田光成、藤村久夫）

概要：昔、道は重要な遊び場であったが、今や遊び場として失われつつある。そうした中、道遊びの面白さを見直しつつ、安全に遊べる道について考えていく。